

障害児医療・療育・福祉の連携と包括化に関する研究

日 暮 眞¹
飯 島 純 夫²
落 合 靖 男³
澤 田 俊一郎⁴
竹 下 研 三⁵
吉 田 健 男⁶

近年わが国における母子保健事業の充実には、目をみはるものがある。とくに、乳幼児健診のシステム化に関しては種々なる工夫がこらされてきている。しかし健診の結果、発見された障害児に対するケアに関しては、障害の多様性の故に、その“みとり”の方策は一様とはいえない。より効率あるケアを行なうためには医療面は勿論のこと、療育面、福祉面のケアの連携と包括化をはからなければならない。そこで本研究班は、活用し得る社会資源に格差のある地域を選び、それぞれの地域での実態・解決されるべき課題の洗い出し・課題解決への方策策定等の調査・研究を実施した上で、最終年度には、有効なる提言をできればと願い、研究を展開してゆきたい。

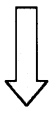
そこで、本年度は以下の諸点に関して調査・研

究を実施した。

- 1) 山梨県における障害児医療・療育・福祉
ー医療・療育・福祉の連携の一つのモデル
としての社会福祉村についてー
- 2) 沖縄県の各離島における心身障害児の医療
・療育・福祉の連携について
- 3) 水戸市における障害児等の総合療育指導の
在り方について
- 4) 障害児の教育現場に上がってきた児の医療
・療育の問題
- 5) 障害児医療・療育・福祉の連携を目指す一
モデル・他
- 6) 精神発達障害児の障害発見における乳幼児
健診の役割

個々の課題報告は、以下にそれぞれ分担記述した。

- 1 東大医学部
- 2 山梨医科大学)
- 3 沖縄県小児発達センター
- 4 茨城県立こども病院
- 5 鳥取大脳研小児科
- 6 愛知県中央保健所



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



平成元年度厚生省心身障害研究

「高齢化社会を迎えるに当たっての母子保健事業策定に関する研究」

障害児医療・療育・福祉の連携と包括化に関する研究

日暮眞 飯島純夫 落合靖男 澤田俊一郎 竹下研三 吉田健男

近年わが国における母子保健事業の充実には、目をみはるものがある。とくに、乳幼児健診のシステム化に関しては種々なる工夫がこらされてきている。しかし健診の結果、発見された障害児に対するケアに関しては、障害の多様性の故に、その“みとり”の方策は一様とはいえない。より効率あるケアを行なうためには医療面は勿論のこと、療育面、福祉面のケアの連携と包括化をはからなければならない。そこで本研究班は、活用し得る社会資源に格差のある地域を選び、それぞれの地域での実態・解決されるべき課題の洗い出し・課題解決への方策策定等の調査・研究を実施した上で、最終年度には、有効なる提言をできればと願い、研究を展開してゆきたい。

そこで、本年度は以下の諸点に関して調査・研究を実施した。

1)山梨県における障害児医療・療育・福祉

一医療・療育・福祉の連携の一つのモデルとしての社会福祉村について一

2)沖縄県の各離島における心身障害児の医療・療育・福祉の連携について

3)水戸市における障害児等の総合療育指導の在り方について

4)障害児の教育現場に上がってきた児の医療・療育の問題

5)障害児医療・療育・福祉の連携を目指す一モデル・他

6)精神発達障害児の障害発見における乳幼児健診の役割

個々の課題報告は、以下にそれぞれ分担記述した。

1 東大医学部

2 山梨医科大学)

3 沖縄県小児発達センター

4 茨城県立こども病院

5 鳥取大脳研小児科

6 愛知県中央保健所